

平成18年8月24日

会員各位

東日本建築教育研究会
法規分科会

東日本建築教育研究会
法規分科会

文部科学省推奨
「評価の観点」作成に関して

標記の件、本分科会の取り組んでおりました「建築法規 評価の観点（観点別評価法）」が整いました。

1単位を35時間として科目内容を割り振っております。ぜひ、ご一見の上、ご意見などお寄せいただきますようお願い申し上げます。

以上

建築法規 評価の観点

Ver.060822

学習指導要領	目 標	建築関係法規に関する基礎的な知識を習得させ、建築物の設計、施工、管理に活用する能力と態度を育てる。			
	内容の構成及び取扱い	建築物が安全及び衛生上の必要性から多くの法規によって規制されていることについて理解させ、建築の計画や設計に生かすことできる実践的な知識を、実際のな事例を通して身に付けさせる。			
1単位換算3.5時間割振		評 価 規 準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	観察・実験の技能・表現	知識・理解
1) 建築法規の起源 意義、体系と構成	・建築の安全と良好な都市環境をつくる上で、建築法規の必要性について関心をもち、設計や施工者の立場で、法規の理解に意欲的、創造的な態度で取り組もうとしている。	・良好な都市環境をつくる上で必要な建築法規の役割を理解し、自らの思考を深め、法規の諸問題に対して適切な判断能力を身につけようとしている。	・建築法規の重要性を理解し、建築法規に関する知識を身につけて、建築の計画や設計などに表現できる。	・建築関係法令の結びつきや役割を理解し、建築物の構想に役立つ実践的な知識を身に付け、建築法規のもつ意義を理解している。	
2) 建築基準法の用語	・今日の建築基準法に至るまでの、歴史的変遷に関心をもち、法規は市民社会の最低のルールであることを理解し、設計者としての実践的な態度を身につけようとしている。	・社会の変化に応じた建築法規の必要性を思考し、性能や仕様に基づく具体的な規制方法などについて適切な判断能力を身につけようとしている。	・建築基準法が出来上がるまでの背景を理解し、「単体規定」と「集団規定」の意義とその効果を建築の計画や設計などに表現できる。	・歴史の変遷と社会的背景と法規の関係を学習し、「性能」と「仕様」の概念と、「集団規定」と「単体規定」の意義を理解している。	
3) 面積算定、各部の高さ	・基本的な用語の定義に関心をもち、実際に法規の理解に役立てようとしている。	・用語の定義にいて思考し、事例に応じて適用できる判断能力を身につけようとしている。	・法規を理解する上で不可欠な基本的な用語の定義を理解して、事例に即して建築の計画や設計に生かすことができる。	・基本的な用語の定義を実際のな事例に即して理解している。	
4) 採光	・面積・階数などの算定基準の背景や諸問題に関心をもち、実際に法規の理解に役立てようとしている。	・面積・高さ・階数等の算定基準の重要性について思考し、事例に応じて基準の適用を判断できる能力を身につけようとしている。	・法規を適用する上で不可欠な面積算定基準を理解し、事例に即して建築の計画や設計に生かすことができる。	・基本的な面積・高さなどの算定方法を実際のな事例に即して理解している。	
5) 採光	・居室の採光に関する規定のできるまでの背景や問題点に関心をもち、有効採光面積の基本的概念の理解に役立てようとしている。	・居室の採光に関する規定と建築の計画や設計などの関わりについての基本的概念を思考し、適切な判断能力を身につけようとしている。	・居室の採光の規制に関する基本的概念を理解し、建築の計画や設計などに生かすことができる。	・居室の採光に関する規制の基本的概念を実際のな事例に即して理解している。	
6) 換気、各部の高さ	・居室の採光に関する規定の背景などに関心をもち、実際のな学習に役立てようとしている。	・居室の採光に関する規定と建築計画や設計との関わりについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・居室の採光の規制に関する、事例に即した算定能力を身につけ、建築の計画や設計に生かすことができる。	・居室の採光に関する規定と算定方法を実際のな事例に即して理解している。	
7) 換気、各部の高さ	・換気、天井高に関する規定の背景などに関心をもち、法規の実際のな学習に役立てようとしている。	・居室の換気、天井高に関する規定と建築計画や設計との関わりについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・居室の換気、天井高の規制に関する、事例に即した算定能力を身につけ、建築の計画や設計に生かすことができる。	・居室の換気、天井高などに関して算定方法を実際のな事例に即して理解している。	
7) 構造設計と構造計算、一般的な規定	・構造強度のあらましや、構造設計などのプロセスと必要性について関心をもち、法規の実際のな学習に役立てようとしている。	・構造強度のあらましや構造設計の原則などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・構造強度のあらましや構造設計の原則などを理解し、建築の計画や設計に生かすことができる。	・構造強度のあらましや構造設計などの原則などについて、事例に即した構造計算方法を理解している。	

8) 各構造の種別ごとの規定 (木造)	・木造建築物の、構造計算を必要としない場合でも、守らなければならない仕様規定について感心をもち、実践的な建築の計画や設計に役立てようとしている。	・木造建築物の構造計算の必要としない場合でも、守らなければならない仕様規定について思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・木造建築物の構造計算を必要としない場合でも、守らなければならない仕様規定について、事例に即した設計能力を身につけることができる。	・木造建築物の、構造計算を必要としない場合でも、守らなければならない仕様規定について、実際の事例に即して理解している。
9) 各構造の種別ごとの規定 (木造)	・木造建築物の、構造耐力上必要な軸組の長さやバランスについて、関心をもち、実践的な建築の計画や設計に役立てようとしている。	・木造建築物の構造耐力上必要な軸組の長さやバランス、計算方法などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・木造建築物の構造耐力上必要な軸組の長さやバランス、計算方法などについて理解し、事例に即した設計能力を身につけることができる。	・木造建築物の構造耐力上必要な軸組の長さやバランス、計算方法を、事例に即した構造計算方法を理解している。
10) 各構造の種別ごとの規定 (鉄骨造)	・構造の安全上最も重要な部分になる接合部に関する規定などについて関心をもち、実践的な建築の計画や設計に役立てようとしている。	・構造の安全上最も重要な部分になる接合部に関する規定などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・構造の安全上最も重要な部分になる接合部に関する規定などについて、事例に即した設計能力を身につけることができる。	・構造の安全上最も重要な部分になる接合部に関する規定などについて、実際の事例に即して理解している。
11) 各構造の種別ごとの規定 (RC造)	・コンクリートの材料や調合・鉄筋の定着や配筋などの規定について関心をもち、実践的な建築の計画や設計に役立てようとしている。	・コンクリートの材料や調合・鉄筋の定着や配筋などの規定について思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・コンクリートの材料や調合・鉄筋の定着や配筋などの規定について、事例に即した設計能力を身につけることができる。	・コンクリートの材料や調合・鉄筋の定着や配筋などの規定について、実際の事例に即して理解している。
12) 構造計算の方法	・構造計算の考え方や算定方法について関心をもち、法規の実践的な学習などに役立てようとしている。	・建築物の構造計画や構造計算の関わりについて思考し、建物の安全性などについて事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・構造計算の方法に関するあらましを理解し、建築の計画や設計に生かすことができる。	・建築物の構造・規模に基づく構造計画や構造計算の方法に関するあらましを理解している。
13) 火災の進展と法規、 火災の拡大を防止する対策 (内装制限)	・火災の拡大・危険性増大の防止のための内装制限の規定の背景に関心をもち、実践的な建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。	・火災の拡大・危険性増大の防止のための内装制限の規定の背景などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・火災の拡大・危険性増大の防止のための内装制限の規定を建築の計画や設計に適用できる能力を身につけることができる。	・火災の拡大・危険性増大の防止のための内装制限の規定について、その背景とともに実際の事例に即して理解している。
14) 火災の拡大を防止する対策 (防火区画)	・火災の拡大・危険性増大の防止のための防火区画の規定の背景に関心をもち、実践的な建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。	・火災の拡大・危険性増大の防止のための防火区画の規定の背景などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・火災の拡大・危険性増大の防止のための防火区画の規定を建築の計画や設計に適用できる能力を身につけることができる。	・火災の拡大・危険性増大の防止のための防火区画の規定について、その背景とともに実際の事例に即して理解している。
15) 避難のための対策	・避難誘導と避難経路確保に関する規定の背景に関心をもち、実践的な建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。	・避難誘導と避難経路確保に関する規定の背景などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・避難誘導と避難経路確保に関する規定を建築の計画や設計に適用できる能力を身につけることができる。	・避難誘導と避難経路確保に関する規定について、その背景とともに実際の事例に即して理解している。
16) 消防隊の活動などのための対策 建築物間の延焼などの防止対策	・消防活動や延焼防止などのための規定の背景に関心をもち、実践的な建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。	・消防活動や延焼防止などのための規定の背景などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・消防活動や延焼防止などのための規定を建築の計画や設計に適用できる能力を身につけることができる。	・消防活動や延焼防止などのための規定について、その背景とともに実際の事例に即して理解している。
17) 換気設備 衛生設備・配管設備 その他の設備	・人命の安全につながる建築設備の役割や設置基準などに幅広く関心をもち、実践的な建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。	・人命の安全につながる建築設備の必要性や安全性などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・人命の安全につながる建築設備について、設置基準や構造基準を建築の計画や設計に生かすことができる。	・人命の安全につながる建築設備について、設置基準や構造基準について、実際の事例に即して理解している。

18) 都市計画法の目的 建築基準法の集団規定の目的 都市計画区域の区分	・都市計画法と建築基準法の集団規定の目的や背景などに興味をもち、法規を意欲的に学ぼうとしている。	・都市計画法と建築基準法の集団規定の必要性や効果について思考し、事例に応じた判断をすることができる。	・都市計画法と建築基準法の集団規定の必要性や効果について思考し、事例に応じた判断をすることができる。	・都市計画法と建築基準法の集団規定の必要性や効果について思考し、事例に応じた判断をすることができる。
19) 用途地域 特別用途地区	・秩序ある土地利用の促進のための用途地域の規定の背景に興味をもち、実際の建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。	・秩序ある土地利用の促進のための用途地域の規定の効果などについて思考を深めようとしている。	・秩序ある土地利用の促進のための用途地域の規定について、建築の計画や設計に生かすことができる。	・秩序ある土地利用の促進のための用途地域の規定について、実際の事例に即して理解している。
20) 防火地域・準防火地域 高層住居誘導地区	・防火・準防火地域内の構造制限などの背景に興味をもち、実際の建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。	・防火・準防火地域内の構造制限などの必要性などについて思考を深めようとしている。	・防火・準防火地域内の構造制限などについて、建築の設計や計画に生かすことができる。	・防火・準防火地域内の構造制限などについて、実際の事例に即して理解している。
21) 道路の種類と基準 敷地と道路の関係 道路内の建築制限	・災害の防止や避難の観点から道路に基づく様々な規定に興味をもち、実践的な態度を身に付けようとしている。	・災害防止や避難の観点から道路と敷地のかかわりなどについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・道路と敷地のかかわる規定について、防災や避難の観点から建築の計画や設計に生かすことができる。	・敷地と道路にかかわる規定について、防災や避難の観点で実際の事例に即して理解している。
22) 密度の意味 建ぺい率	・都市環境と建築物の密度の調和について、その目的・背景などに関心をもち、建築の計画や設計などの実践的な学習に役立てようとしている。	・建ぺい率の制限による都市環境への効果、役割などについて思考を深めようとしている。	・建ぺい率の制限の計算能力を身に付け、事例に即して建築の計画や設計に生かすことができる。	・密度規制の目的とあらましを理解し、建ぺい率の算定方法を実際の事例に即して理解している。
23) 容積率	・都市環境と建築物の密度の調和について、その目的・背景などに関心をもち、建築の計画や設計などの実践的な学習に役立てようとしている。	・容積率の制限による都市環境への効果、役割などについて思考を深めようとしている。	・容積率の制限の計算能力を身に付け、事例に即して建築の計画や設計に生かすことができる。	・密度規制の目的とあらましを理解し、容積率の算定方法を実際の事例に即して理解している。
24) 容積率 (前面道路の緩和)	・都市環境と建築物の密度の調和について、その目的・背景などに関心をもち、建築の計画や設計などの実践的な学習に役立てようとしている。	・容積率の制限の緩和規定における効果、役割などについて思考を深めようとしている。	・容積率の制限の緩和規定における計算方法について理解し、事例に即して建築の計画や設計に生かすことができる。	・密度規制の目的とあらましを理解し、容積率の緩和規定における算定方法を実際の事例に即して理解している。
25) 建築物の高さの制限 建築物の各部分の高さ (道路斜線制限)	・日照と都市環境のかかわりや道路斜線制限の目的や効果などについて興味をもち、法規の実践的な学習に役立てようとしている。	・日照と都市環境のかかわりや道路斜線制限の効果などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・日照と都市環境のかかわりや道路斜線制限について、判断能力を身に付け、事例に即して建築の計画や設計学習に的確に生かすことができる。	・日照と都市環境のかかわりや道路斜線制限の成り立ちとその効果について、実際の事例に即した算定方法理解している。
26) 建築物の各部分の高さ (道路斜線制限の緩和)	・道路斜線制限の緩和規定の目的や効果などについて興味をもち、法規の実践的な学習に役立てようとしている。	・道路斜線制限の緩和規定の効果などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・道路斜線制限の緩和規定について、判断能力を身に付け、事例に即して建築の計画や設計学習に的確に生かすことができる。	・道路斜線制限の緩和規定の成り立ちとその効果について、実際の事例に即した算定方法理解している。
27) 建築物の各部分の高さ (道路斜線制限の緩和) <公園、高低差>	・道路斜線制限の緩和規定の目的や効果などについて興味をもち、法規の実践的な学習に役立てようとしている。	・道路斜線制限の緩和規定の効果などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・道路斜線制限の緩和規定について、判断能力を身に付け、事例に即して建築の計画や設計学習に的確に生かすことができる。	・道路斜線制限の緩和規定の成り立ちとその効果について、実際の事例に即した算定方法理解している。
28) 建築物の各部分の高さ (隣地斜線制限)	・日照と都市環境のかかわりや隣地斜線制限の目的や効果などについて興味をもち、法規の実践的な学習に役立てようとしている。	・日照と都市環境のかかわりや隣地斜線制限の効果などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・日照と都市環境のかかわりや隣地斜線制限について、判断能力を身に付け、事例に即して建築の計画や設計学習に的確に生かすことができる。	・日照と都市環境のかかわりや隣地斜線制限の成り立ちとその効果について、実際の事例に即した算定方法理解している。

29) 建築物の各部分の高さ (北側斜線制限)	・日照と都市環境のかかわりや北側斜線制限の目的や効果などについて関心をもち、法規の実践的な学習に役立てようとしている。	・日照と都市環境のかかわりや北側斜線制限の効果などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することがことができる。	・日照と都市環境のかかわりや北側斜線制限について、判断能力を身につけ、事例に即して建築の計画や設計学習に的確に生かすことができる。	・日照と都市環境のかかわりや北側斜線制限の成り立ちとその効果について、実際の事例に即した算定方法理解している。
30) 日影による中高層の建築物の高さの制限	・日照と都市環境のかかわりや日影規制の目的や背景などについて関心をもち、法規の実践的な学習に役立てようとしている。	・日照と都市環境のかかわりや日影規制の効果などについて思考し、事例に応じて基準の適用を判断することがことができる。	・日照と都市環境のかかわりや日影規制について、判断能力を身につけ、事例に即して建築の計画や設計に生かすことができる。	・日照と都市環境のかかわりや日影規制の成り立ちとその効果について、実際の事例に即した算定方法理解している。
31) 地区計画 建築協定 総合設計・特定街区 一定の複数建築物に対する総合的設計	・地域の個性に応じた良好なまちづくりのための制度について、その目的・背景などに関心をもち、法規の実践的な学習に役立てようとしている。	・地域の個性に応じた良好なまちづくりのための制度の効果などについて、思考を深めようとしている。	・地域の個性に応じた良好なまちづくりのための制度のしくみや効果を理解し、建築の計画や設計に生かすことができる。	・地域の個性に応じた良好なまちづくりのための制度のあらましとその効果を、実際の事例に即して理解している。
32) 手続きのあらまし 建築主事 指定確認検査機関 特定行政庁 建築審査会 建築物の設計と工事監理 建築確認	・安全で環境にも調和した建築物とする最低の条件を満たすための手続きや、関係機関について関心をもち、法規の実践的な学習に役立てようとしている。	・手続きに関するプロセスと建築生産のかかわり、関係機関の役割などについて思考を深めようとしている。	・手続きのプロセスと建築生産のかかわりと関係機関について、理解することができる。	・手続きと手続きに関係する機関のあらましについて理解できる。
33) 施工状況の報告 検査 工事現場に関する手続きなど 維持保全の義務 定期報告 是正の命令など 違反建築物の設計者などに対する措置 危険な建築物などに対する措置 適用の除外 制限の緩和 不服申立て 罰則	・建築物の使用に伴う維持保全・定期報告や違反建築物に対する措置などについて関心をもち、法規の実践的な学習に役立てようとしている。	・建築物の使用に伴う維持保全・定期報告や違反建築物に対する措置などの必要性について思考し、事例に応じて判断することができる。	・建築物の使用に伴う維持保全・定期報告や違反建築物に対する措置などについて、理解することができる。	・建築物の使用に伴う維持保全・定期報告や違反建築物に対する措置などについて、実際の事例に即して理解している。
34) 敷地条件にかかわる法規 建築資金にかかわる法規 建築土法	・企画や設計と工事段階にかかわる法規について関心をもち、法規の実践的な学習に役立てようとしている。	・企画や設計と工事段階にかかわる法規について思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・企画や設計と工事段階にかかわる法規について、理解することができる。	・企画や設計と工事段階にかかわる法規について、実際の事例に即して理解している。
35) 建設業法 工事の安全管理と衛生管理 環境の保護 ハートビル法 耐震改修促進法 住宅品質確保促進法 取引・登記に関する法規 所有・利用・管理に関する法規 その他	・より安全で快適な建築物を促進するための法規について関心をもち、法規の実践的な学習に役立てようとしている。	・より安全で快適な建築物を促進するための法規について思考し、事例に応じて基準の適用を判断することができる。	・より安全で快適な建築物を促進するための法規について理解し、建築の計画や設計などに生かすことができる。	・より安全で快適な建築物を促進するための法規について、実際の事例に即して理解している。